

とに主体を置くならば、オーシャンブルーもヘブンリーブルーも展示に用いるには不向きであることが分かった。花の見頃はどちらも秋口だが、特にヘブンリーブルーは相当涼しくなってから見頃を迎えることが分かった。葉を見せるだけなら、暑さで傷みやすいヘブンリーブルーよりも、オーシャンブルー

が適していると言える。

最後に、今回の展示を行うに当たって事前に情報提供いただいた九州大学大学院理学研究院の仁田坂英二先生、国営武蔵丘陵森林公園都市緑化植物園の山下英夫園長、広島市佐伯区在住の中岡智子氏に厚く御礼申し上げる。

ステファニア・ピエレリー (*Stephania pierreri* Diels) のつるの伸長について

信太千帆・濱谷修一

ステファニア・ピエレリー (*Stephania pierreri* Diels) は、インドから中国にかけて分布するツツラフジ科の植物である。塊根を持つ多肉植物で、生育期には、つるを伸長させる。当園では、サボテン温室内に地植えている。

平成 17 年度、本種の生育を調査し、つるの伸びについての情報が得られたので報告する。

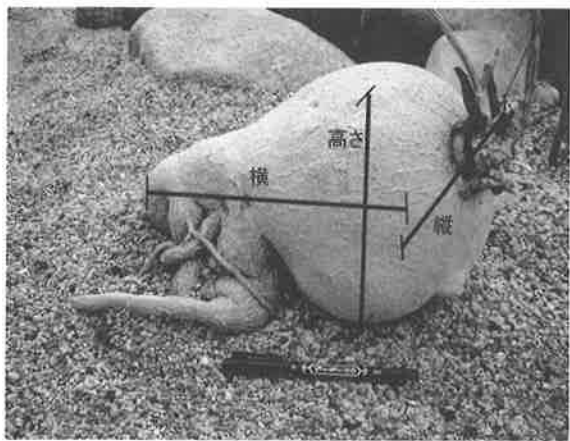


写真 1. 落葉後の塊根の地上部

つるの伸長は 4 月上旬に始まり、7 月下旬まで旺盛に伸長し、8 月中旬から伸長が緩慢になった。9 月上旬にはほとんど伸長なくなり、10 月中旬 (10/19) には葉が黄変、11 月上旬頃に落葉した。

落葉後の塊根の地上部は、横 30cm、縦 20cm、高さ 17cm の楕円の球状になっていた。(写真 1)

つるの伸長の速さを知るため、4 月 10 日から 5 月 28 日にかけて、2～4 日おきにつるの長さを測定した。つるの長さは、塊根の先端部 (写真 1 参照) から、最も遠くまで伸びている先端部までの距離とした。測定時には、つるの先端部にラベルを付け、調査日とつるの長さを記し、入園者にもわかるようにした (写真 2)。測定の記録を図に示した。調査した間は、4 月 10 日から 12 日の間が 1 日あたり



写真 2. つるの測定結果の表示

10.5cm 伸びていたが、それ以後 5 月 28 日までの伸びは 1 日あたり 4.5cm から 8.3cm (平均 6.6cm) となっていた。4 月 10 日以前に調査を行っていないため、4 月 10 日から 4 月 12 日の間の伸びが他と比べて大きいのが偶然なのか、4 月 12 日以前はつるの伸長が開始して間もない頃であるために、それ以後と比べてより速くつるが伸長していたことによるのかは明らかではない。

なお、つるは何本かに枝分かれしたものがからみ合いながら伸びていたが、落葉時にほぐして調べたところ、最も長いものは 7m59cm であった。

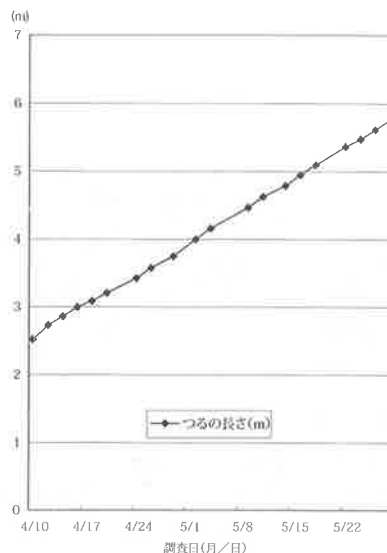


図. つるの伸長の様子
(平成 17 年 4 月 10 日～5 月 28 日)